

千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第20週 (5/11-5/17) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		20週	19週	18週	17週
小児科		18	18	17	18
眼科		5	5	4	5
インフルエンザ*		27	27	23	27
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数
「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			5/11-5/17	5/4-5/10	4/27-5/3	4/20-4/26	5/4-5/10
			20週	19週	18週	17週	19週
小児科	RSウイルス感染症		2	1	2	3	4
	咽頭結膜熱	○	7	4	5	1	58
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	61	26	43	57	198
	感染性胃腸炎		93	46	133	135	357
	水痘		5	13	7	10	63
	手足口病	○	13	3	2	3	20
	伝染性紅斑		17	10	29	23	62
	突発性発しん		17	9	10	13	43
	百日咳		0	0	1	0	0
	ヘルパンギーナ		2	0	0	0	2
	流行性耳下腺炎		7	2	10	2	49
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		3	16	20	64	97
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	1	0	0
	流行性角結膜炎		3	3	1	3	21
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	1	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	1	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	1

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(14件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査	結核	女性	30歳代	リンパ節検査
結核	男性	40歳代	病原体等の検出等	結核	女性	40歳代	画像診断
結核	男性	50歳代	病原体の検出等	結核	女性	60歳代	画像診断等
結核	男性	70歳代	IGRA検査	レジオネラ症	男性	70歳代	病原体抗原の検出
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	10歳未満	病原体の検出
結核	女性	10歳未満	IGRA検査	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	10歳未満	病原体の検出等
結核	女性	10歳未満	IGRA検査	梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出

・結核10件(76)、レジオネラ症1件(3)、侵襲性肺炎球菌感染症2件(16)、梅毒1件(7)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

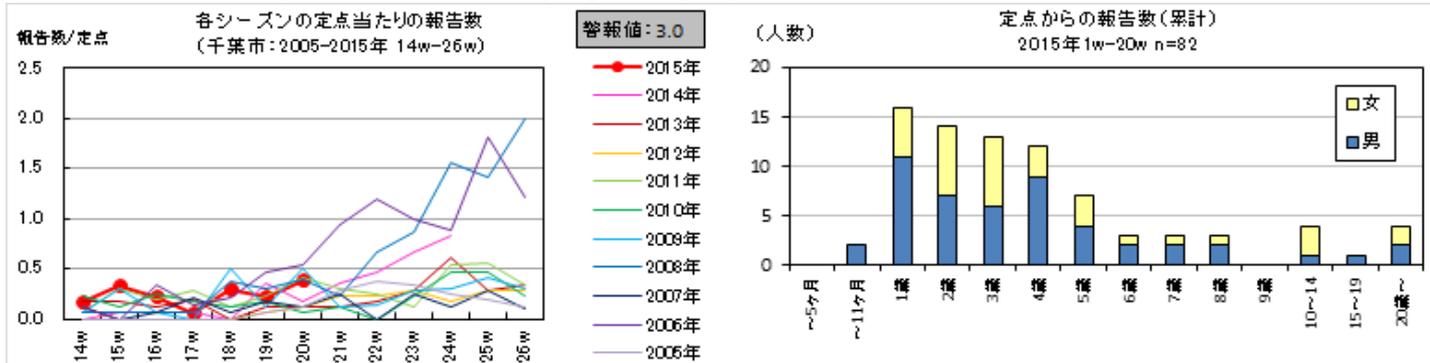
定点当たり報告数 第20週のコメント

- ＜咽頭結膜熱＞前週より増加し0.39となった。過去10年の同時期と比べると多い。
- ＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞前週より増加し3.39となった。過去10年の同時期と比べると多い。
- ＜手足口病＞前週より増加し0.72となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

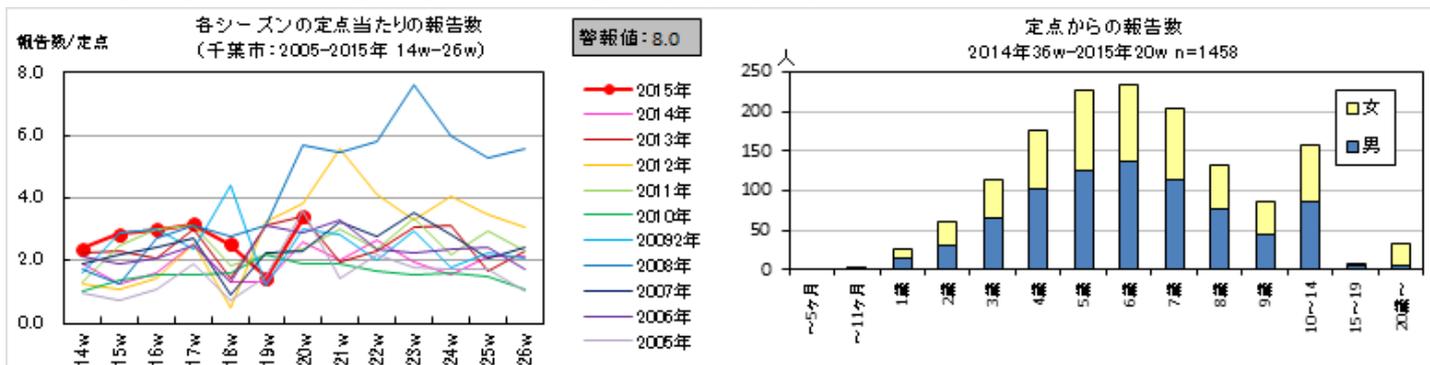
＜咽頭結膜熱＞

全国レベルの2015年第19週現在は、過去8年間の同時期と比べるとほぼ例年並みとなっています。都道府県別では、新潟県、山形県、宮崎県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多くなっています。千葉市の2015年第20週は、前週より増加し0.39となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況では、若葉区(2.0/定点)で最多で、同区の1歳、4歳、5歳、6歳で発生が報告されました。2015年第1週から第20週現在の累積報告数(n=82)によると、性別では男性が59.8%(49名)、女性が40.2%(33名)で、年齢階級別では1歳(19.5%:16名)、2歳(17.1%:14名)、3歳(15.9%:13名)の順に多くなっています。



＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの2015年第19週現在は、過去8年間の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、鳥取県、島根県、群馬県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや少なくなっています。千葉市の2015年第20週は、前週より増加し3.39となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況では、緑区(7.0/定点)で最多で、同区の8歳で最も多く発生が報告されました。今シーズンである2014年第36週から2015年第20週現在の累積報告数(n=1458)によると、性別では男性が55.4%(808名)、女性が44.6%(650名)で、年齢階級別では6歳(16.0%:233名)、5歳(15.6%:227名)、7歳(14.0%:204名)の順に多くなっています。



＜手足口病＞

全国レベルの2015年第19週現在は、過去8年間の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、徳島県、鳥取県、沖縄県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより少なくなっています。千葉市の2015年第20週は、前週より増加し0.72となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況では、若葉区(3.5/定点)で最多で、同区の2歳で最も多く発生が報告されました。2015年第1週から第20週現在の累積報告数(n=35)によると、性別では男性が54.3%(19名)、女性が45.7%(16名)で、年齢階級別では2歳(28.6%:10名)、1歳(22.9%:8名)、4歳(17.19%:6名)の順に多くなっています。

